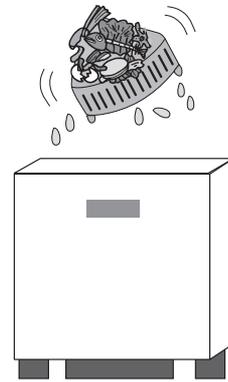


狛江市 ごみ半減新聞

K O M A E

Vol.27 平成19年3月

発行 狛江市環境部清掃課
〒201-0004 狛江市岩戸北1-1-11
狛江市ビン・缶リサイクルセンター内
☎ 03-3488-5300(直通)



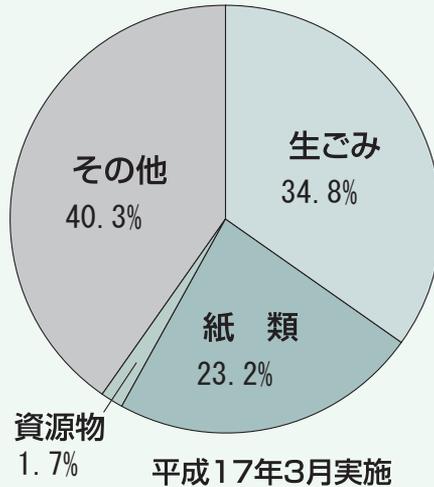
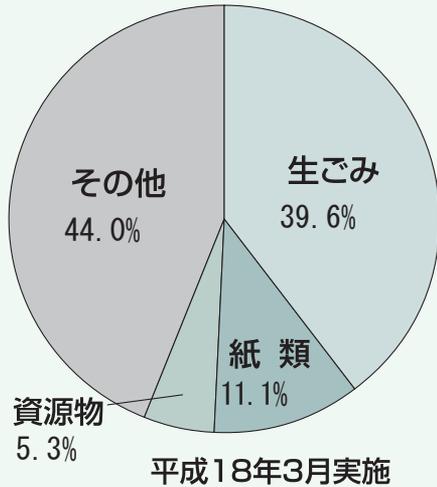
生ごみ処理機購入補助など
ごみ減量のために使用しています。



ごみ有料化による手数料収入は...

組成分析に参加してみませんか？

組成分析を知っていますか？これは、市内からでた可燃ごみをリサイクルセンターで開けて、中に何が入っているのかを調べることです。毎年1回行っています。この結果をみて、分別はきちんとされているかということや、どうしたらごみを減らすことができるのかということを検討する大切な資料としています。



組成分析結果

実施日 平成19年3月30日(金)
 持ち物 タオル・長靴
 場所 狛江市 ビン・缶
 リサイクルセンター
 時間 午前9時から2時間程度

実施日・持ち物

この調査は、毎年同じ地域を対象にしています。今回の調査で特に注目できるところは、資源になる紙が大きく減っていることです。みなさんご家庭でも、有料のごみを減らすために今まで以上に紙の分別をしているのではないのでしょうか？これからも分別にご協力をお願いします。

そして、これからのごみ減量の中で大きな割合を占めているのは生ごみです。生ごみは調査の中で見てみると、食べ残しや食べ切れなかった食材をごみにしてしまっています。これを減らすことが一番のごみ減量になります。そのほかの生ごみについては、ほとんどが水分です。この水分を切っただけで出すようにお願いします。

組成分析はどなたでも参加できます。普段疑問に思っていることを実際に目で見て確認してみませんか。また、分別の再確認をすることもできます。2時間程度で終わりますので、お気軽にご参加ください。また、汚れる場合がありますので、汚れてもいい服装でご参加ください。



このごみ袋の販売によって入った手数料収入については、ごみに関係する費用の一部として利用させていただきます。具体的には、生ごみ処理機の補助金や、資源ごみ集団回収にかかる費用など、ごみを減量するための施策に係る費用として利用しています。また、狛江市のごみを焼却している多摩川衛生組合や、東京たま広域資源循環組合の負担金の一部として利用しています。

この手数料は何に使われているの？

	平成17年10月 ～ 平成18年3月	平成18年4月 ～ 平成19年1月
販売数 (10枚1組)	405,780組	349,080組
手数料収入	197,693千円	176,102千円

ごみ袋販売数と 手数料収入